

科目名	障 害 児 保 育	教員名	たかはら のりこ 高 原 典 子	開 講	保育科	1 年 次	後 期
<p>・目的と内容</p> <p>障がい児保育を行う保育所は増加の一途を辿り、昨今では、障がいをもつ子どもが保育所や幼稚園に通うことは一般的になりつつあります。したがって、多様化する障がい児保育の現状と課題を学びつつ、保育士はより幅広い専門性を身につけていくことが期待されています。</p> <p>この講座では、多くのすぐれた現場実践に学びながら“新しい障がい観”を構築し、保育実践に資することを目的とします。</p>							
<p>・授業計画 [単位数：1 単位、授業週数：1 5 回]</p> <p>[後期]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．オリエンテーション（障がいをとらえる視点） 2．障がい・障がい児保育とは 3．障がい観の変化と特別支援教育 4．障がい児保育の制度と変遷 5．障がいのある子どもたちの思い 6．障がいのある子どもの保護者の思い 7．障がいのある子どもの保育実践に学ぶ 8．身体と運動の障がいとその理解 9．知的障がいとその理解 10．言語障がいとその理解（1） 11．言語障がいとその理解（2） 12．発達障がいとその理解（1） 13．発達障がいとその理解（2） 14．障がい児保育の経験から学ぶ 15．まとめ 							
<p>・講義の進め方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．授業は誰もがわかる内容であることに努めます。 2．随所にVTRやプリントを取り込み、理解しやすい授業に心がけます。 3．受講生とのディスカッションを重視し、共通理解を図ることを目指します。 							
<p>・試験と成績評価</p> <p>定期試験、レポート、出席状況の結果を総合して評価します。</p> <p>定期試験では、自筆ノートおよび授業で使用したプリントの持ち込みは自由とします。</p>							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>この講義を最終回まで受講することにより、受講生それぞれにもっていた障がいに対するイメージが大きく変わり、新しい「障がい観」が構築されることを期待するとともに、ディスカッションを通して私自身も変革したいと思います。</p>							
<p>・使用教材</p> <p>教科書：『最新保育講座 「障害児保育」』 鯨岡 峻編（ミネルヴァ書房）</p> <p>参考書：『保育者の地平～私的体験から普遍に向けて～』 津守 真著（ミネルヴァ書房）</p> <p>『気になる子のQ & A～発達障がいの理解とサポート』田中康雄執筆（学 研）</p>							